

# 花いけ競技、一緒に挑戦

## 常陸大宮 小瀬高と明峰中、特別授業

花いけバトルに挑戦する生徒ら＝常陸大宮市上小瀬



「高校生花いけバトル」で4年連続で全国大会に出場している常陸大宮市上小瀬の県立小瀬高（園部卓也校長）は16日、連携型中高一貫校の市立明峰中（河野秀彦校長）の生徒と一緒に、競技を体験する特別授業を行った。

授業には、両校の1年生合わせて約70人が参加。材

料となる枝物を生産するJA常陸奥久慈枝物部会の地元農家らが協力し、講師として水戸市のフラワーアーティスト、君島啓一さんを招き、花いけの見せ方のコツや楽しさを味わった。

君島さんが「やればやるほどうまくなる」と手本を示した後、生徒たちは2人

一組になり、用意したスモークツリーやドウタンツツジなどの枝物、ヒマワリやユリなどの生花を使って組み合わせ、5分間の持ち時間で花いけバトルに挑戦だ。

初めて体験した明峰中の岡山菜々さん（13）、小林沙優菜さん（同）は「ボリュームと美しさを意識した。よくてきた」「なかなかできない貴重な経験だった」と感想を述べた。小瀬高の大島遥翔さん（16）は「地元で育てた枝物で花いけができるのはすごい。興味が湧いた」と話した。

花いけバトルには、同高の現代文化研究部が部活動で取り組んでいる。

（高島和弘）



クロスアイ  
HPに動画